

地域医療支援病院業務報告書

1. 概要

| | | |
|-------|------|--|
| 病院名 | フリガナ | ドクリツギョウセイホウジン コクリツビョウインキコウ コウベイリョウセンター |
| | | 独立行政法人国立病院機構 神戸医療センター |
| 所在地 | | 兵庫県神戸市須磨区西落合3-1-1 |
| 開設者 | | 独立行政法人国立病院機構 理事長 新木 一弘 |
| 代表者氏名 | | 院長 味木 徹夫 |
| 承認年月日 | | 平成24年11月14日 |

2. 業務報告

| | |
|------|--------------------|
| 対象期間 | 令和5年4月1日～令和6年3月31日 |
|------|--------------------|

◇紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

| | | |
|-----------|------------|--------|
| 承認要件 | 紹介率80%以上 | |
| 紹介率 | A/B | 81.1% |
| ※患者数は延べ人数 | A: 紹介患者の数 | 7,757人 |
| | B: 初診患者の数 | 9,554人 |
| 逆紹介率 | C/B | 85.9% |
| ※患者数は延べ人数 | C: 逆紹介患者の数 | 8,216人 |

◇共同利用の実績

| | |
|-----------------------------------|---|
| 医療機関延べ数 (うち開設者と直接関係のない医療機関延べ数) | 2,292機関 (2,292機関) |
| 共同利用病床数 | 5床 |
| 共同利用病床利用率 | 18.9% |
| 共同利用の範囲 | 建物全体(図書室、会議室) |
| 共同利用施設・設備 | 1. 建物全体 2. 共同利用病床(一般病床 5床) 3. CT, MRI、ガンマカメラ、リニアック、アンギオ、上部・下部消化管内視鏡及びこれに付随する機器・器具一式など |
| 登録医療機関数 | 319機関 |

| | |
|---------------|---|
| 共同利用に関する規定の有無 | 有 |
|---------------|---|

◇救急医療の提供の実績

| | |
|-------------|----|
| 優先的に使用できる病床 | 2床 |
| 専用病床 | 0床 |

| | | |
|--------------------------|--------|----------|
| 救急用又は患者輸送用自動車により搬入した救急患者 | 2,149人 | (1,124人) |
| 上記以外の救急患者 | 2,437人 | (1,006人) |
| 合計 | 4,586人 | (2,130人) |

※延べ人数。括弧内は、うち入院を要した患者数

| | |
|---------------|----|
| 救急用又は患者輸送用自動車 | 1台 |
|---------------|----|

◇地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績

| | | |
|-------|---|-------------------|
| 研修の内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・須磨区医師会臨床談話会・・・四半期ごとに1回、地域の医療従事者を対象に、最新の診療情報の提供を中心とした勉強会を行っている。 ・がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会・・・がん診療に携わる医師が緩和ケアについての基本的な知識を習得することを目標とした研修である。 ・神戸市須磨区薬業連携講演会・・・須磨区の近隣連携薬局に勤務する薬剤師の研修及び教育を行うことで質的向上を図り、会員相互間の親睦を図る。(学術研究・調査研究、教育研修に関する事、認定薬剤師認定制度、関連諸団体との連絡等) ・病診連携懇談会・・・毎年夏から秋にかけて地域医師会(須磨区・垂水区・西区)及び須磨区歯科医師会、須磨区薬剤師会の役員を招き、病診連携の活性化を図るために懇談会を開催している。 ・感染カンファレンス・・・名谷病院・北須磨病院・伊川谷病院が当院に集まって感染状況確認、感染予防、感染対策、情報交換等を行い、自院の感染対策に務めている。今後、開業医との連携拡大・情報交換を図り地域全体で感染対策取り組んでいく。 ・在宅-病院の連携強化事例検討会・・・須磨区の訪問看護やあんしんすこやかセンターと事例検討会を行い連携強化を図っている。 ・多くの会議でWEBを活用しながらハイブリット形式で研修に取り組み、新型コロナ対策を図っている。 | |
| 研修の実績 | 地域の医療従事者への研修回数 | 19回 |
| | 合計研修者数(うち院外参加者) | 447人 (286人) |
| 研修体制 | 研修プログラムの有無 | 有り |
| | 研修委員会の設置の有無 | 有り |
| | 研修指導者数 | 43人 |
| 研修施設 | 会議室 1 | 45m ² |
| | 会議室 2 | 46m ² |
| | 会議室 3 | 110m ² |
| | 地域医療研修室 1 | 41m ² |
| | 図書室 | 63m ² |
| | 研修棟講義室 | 106m ² |

◇診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

| | | | |
|-----------------------|----------------|-------------|--|
| 管理責任者 | 事務部長 西岡 哲寿 | | |
| 管理担当者 | 管理課長 鶴田 貴久 | 企画課長 梶田 佳範 | |
| 診療に関する諸記録の保管場所 | 各担当課、室及び科 | | |
| 病院の管理及び運営に関する諸記録の保管場所 | 共同利用の実績 | 地域医療連携室 | |
| | 救急医療の提供の実績 | 企画課 | |
| | 地域医療従事者向け研修の実績 | 管理課・教育担当師長室 | |
| | 閲覧実績 | 管理課・企画課 | |
| | 紹介患者等の帳簿 | 地域医療連携室 | |

◇診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

| | | | |
|-------------|------------|------------|--|
| 閲覧責任者 | 院長 味木 徹夫 | | |
| 閲覧担当者 | 管理課長 鶴田 貴久 | 企画課長 梶田 佳範 | |
| 閲覧の求めに応じる場所 | 会議室 | | |
| 閲覧者別延べ件数 | 医師 | 0件 | |
| | 歯科医師 | 0件 | |
| | 地方公共団体 | 19件 | |
| | その他 | 81件 | |
| | 合計 | 100件 | |

◇第九条の十九第一項に規定する委員会の開催の実績

| | |
|----------|----|
| 委員会の開催回数 | 1回 |
|----------|----|

◇患者相談の実績

| | |
|----------|---|
| 相談を行う場所 | 在宅支援室・医療相談室・がん相談支援センター・その他（病室・カンファレンスルーム） |
| 主たる相談対応者 | ソーシャルワーカー、看護師 計8人 |
| 相談件数 | 11,041件 |
| 相談の概要 | <p>○療養中の心理的・社会的問題の解決・・・（受診の不安や難病等の受容について、家族関係の整理、調整援助等）</p> <p>○退院調整・・・（在宅ケアサービスの調整、医療機関・福祉施設などへの転院調整、転院や退院への不安の解消）</p> <p>○受診・受療援助・・・（円滑に受療を行うための情報提供・調整、受診・受療を妨げる要因の解決援助）</p> <p>○経済的問題の解決・調整援助・・・（支払困難者や生活困窮者等に対する医療保険制度や社会保障制度の紹介・調整）</p> <p>○がん相談・・・（がんに関する診断や治療に関する相談・情報提供、緩和ケアにかかる相談・情報提供、セカンドオピニオンに関する相談・情報提供）</p> <p>○その他（介護・身障関係等）・・・（介護保険申請援助、介護保険による介護利用サービス利用についての相談支援、その他公的サービス利用についての相談支援）</p> <p>※退院援助においては、患者及び家族から希望を聞いた上で転医先と調整を行い、橋渡しを行っている。自宅に帰る場合も、在宅医になっていただける医師を探し調整を行っている。</p> |

◇その他地域医療支援病院に求められる取組み

| | |
|-----------------|---|
| 病院機能第三者評価 | 有 |
| 役割に関する情報発信 | 有 |
| 退院調整部門 | 有 |
| 地域連携クリティカルパスの策定 | 有 |

独立行政法人国立病院機構 神戸医療センター